

第1章 消防の概況

1. 市町村の消防体制(第1図参照)

令和4年4月1日現在、一部事務組合構成市町村を含め15市町村すべてが消防本部、署を常備している。

なお、魚津市、滑川市、上市町及び舟橋村は、消防事務を富山県東部消防組合(平成25年3月31日消防本部設置)で行い、黒部市、入善町及び朝日町は、新川地域消防組合(平成25年3月30日消防本部設置)で行い、砺波市、小矢部市及び南砺市は、砺波地域消防組合(平成23年4月1日消防本部設置)で行っている。また、氷見市は令和3年4月1日より消防事務を高岡市に委託している。

2. 消防機関相互の協力体制

昭和44年2月7日に消防組織法第21条第2項の規定に基づく「富山県市町村消防相互応援協定」を県内全市町村が締結し、協力体制の整備を図っている。

応援の具体的内容は次のとおりである。

- (1)火災防御のための消防隊の派遣
- (2)大規模な災害事故における救助隊及び救急隊の派遣
- (3)その他の災害に際し、防御に必要な人員及び資機材の援助

3. 消防体制等の概況

令和4年4月1日現在の消防組織、消防施設の状況並びに令和3年中の消防機関の活動状況は第1表のとおりである。

第1表 消防体制等の状況

1 消防体制(4.4.1現在)

消 防 組 織	設置別	消防本部のみ設置	
		消防本部・署併設	7本部
	消防署数	26署	
		出張所数	
	消防職員	消防吏員	1,320人
		その他の職員	10人
		計	1,330人
	消防兼長の専任別	専任	7人
		消防署長の兼任	
		市町村長の兼任	
		助役の事務取扱組合管理者	
	消防団数	15団	
		分団数	
	消防常備部数		
		常備部出張所数	
	消防常勤機関員の配置個所数		
		役場消防等の配置数	
	消防団員数	計	8,743人
		非常勤団員数	8,743人
		うち役場消防等の職	
常勤団員数			
消防施設等	区分	消防本部・署	消防団
	普通消防ポンプ自動車	38台	313台
	水槽付消防ポンプ自動車	42台	
	はしご付消防(ポンプ)自動車	11台	
	屈折はしご付消防(ポンプ)自動車	1台	
	大型高所放水車	2台	
	泡原液搬送車	3台	
	化学消防自動車	16台	
	救急自動車	64台	
	無線指揮車	28台	2台
	消防艇	3隻	
小型動力ポンプ積載車	1台	96台	

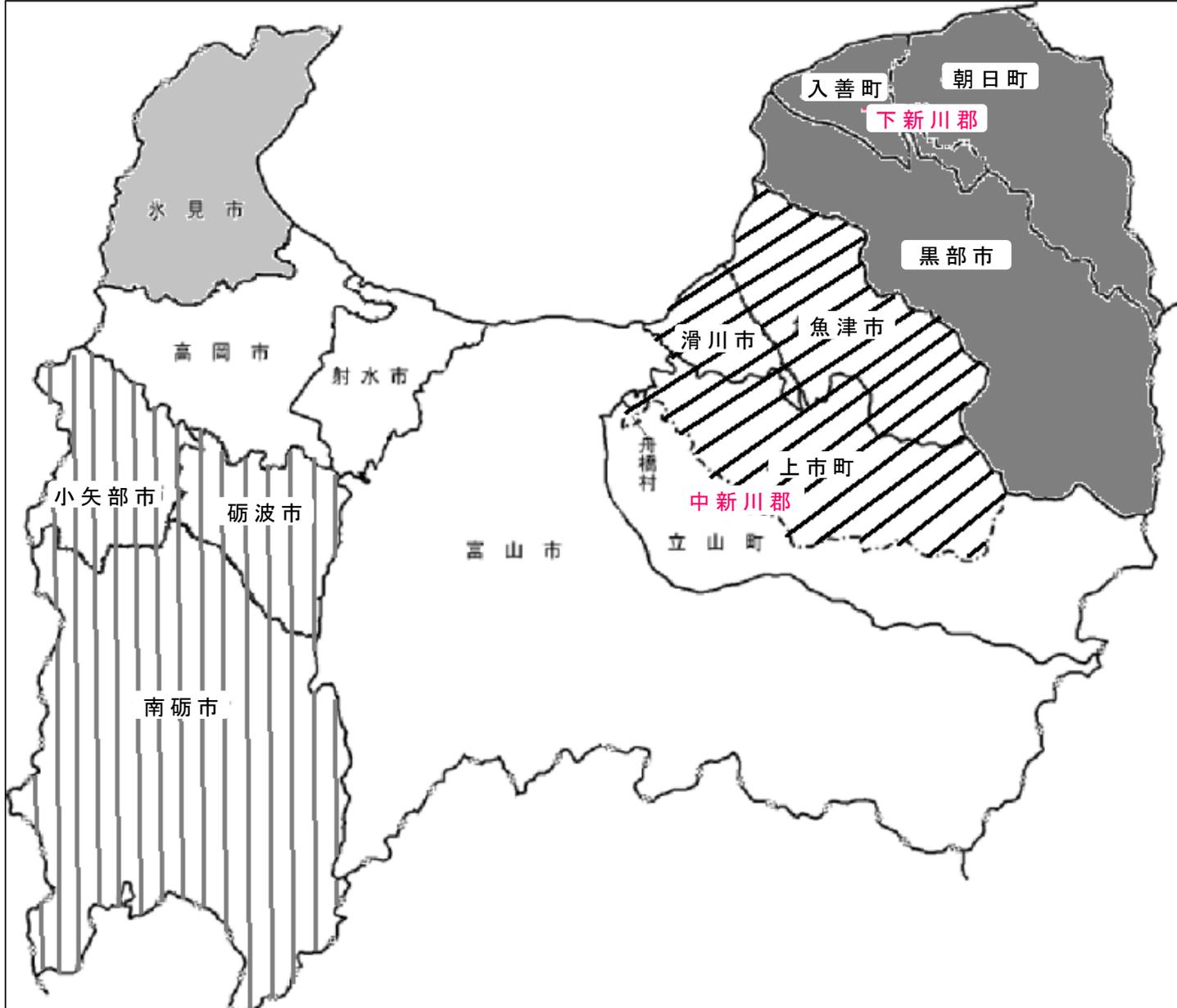
2 活動概況(3.1.1~3.12.31)

本 部 ・ 署	区分	出動回数	出動人員(人)	
	全体	68,711回	216,221人	
	うち火災	167回	2,993人	
	〃 救急業務	43,623回	136,436人	
	〃 演習訓練	1,022回	7,072人	
	〃 広報指導	4,108回	11,496人	
	〃 警防調査	2,472回	7,490人	
	〃 予防査察	11,929回	26,026人	
	消防団	全体	7,384回	74,097人
		うち火災	149回	4,652人
〃 演習訓練		542回	9,886人	
〃 特別警戒		2,035回	21,355人	

消 防 設 施	消防ポンプ等	小型動力ポンプ	25台	211台
		電源・照明車		
		排煙・高発泡車	1台	
		広報車	26台	7台
		資材搬送車	28台	5台
	消火栓	公設	19,722基	
		私設	17基	
		計	19,739基	
	防火水そう	100㎡以上	86基	
		40~100㎡未満	3,996基	
		20~40㎡未満	503基	
		計	4,585基	
	井戸	公設	105基	
		私設		
		計	105基	
	消防用無線	固定局	7局	
		基地局	34局	
		移動局	1,381局	
		携帯局	40局	
	火災通報施設	発信機		
受信機				
テレビ監視装置		2台		
火災専用電話		97台		
消防電話		59台		
充足状況	ポンプ車(本部、署)	現有台数(A)	80台	
		基準台数(B)	69台	
	充足率(A)/(B)		115.9%	
	消防水利	現有数(E)	24,429基	
基準数(F)		22,927基		
充足率(E)/(F)		106.6%		

第1図 富山県消防の概況図

(令和4年4月1日現在)



- 単独常備市町 5市町
- ▨ ▩ 組合常備市町村 10市町村
- 消防事務委託市 1市